

富士通におけるHL7 FHIRの 取り組み事例のご紹介

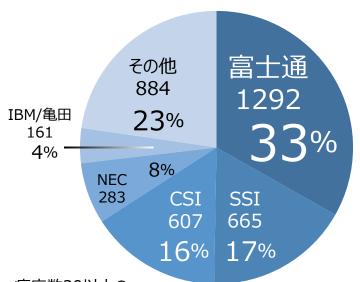
富士通株式会社 小山内 尚



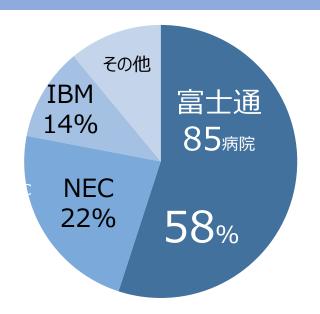
富士通について







全国大学病院



病院:病床数20以上の

医療機関

日本におけるEMRのシェア1位

Healthy Living





健康データの利活用ビジネスのグローバル展開を目指す

国立がん研究センター東病院について





Leading Edge Care

- Laparoscopic/robotic surgery, minimal invasive treatments i.e., ESD
- · Largest scale outpatient center, pharmacist consultations
- . First proton treatment facility in Japan, high precision radiology treatment

Holistic Support

- For patients/family for both physical and mental wellbeing and social life, starting from diagnosis
- · Specialist care for female cancer patients/families
- First palliative care ward in national hospital, close collaboration with communities

Therapeutics Development

- Abundant experience in early clinical trials and translational research
- New surgical procedures/endoscopic equipment development research – collaboration with academia







National Cancer Center Japan

次世代医療におけるイノベーションをリードする医療機関

国がん東と富士通の共同研究





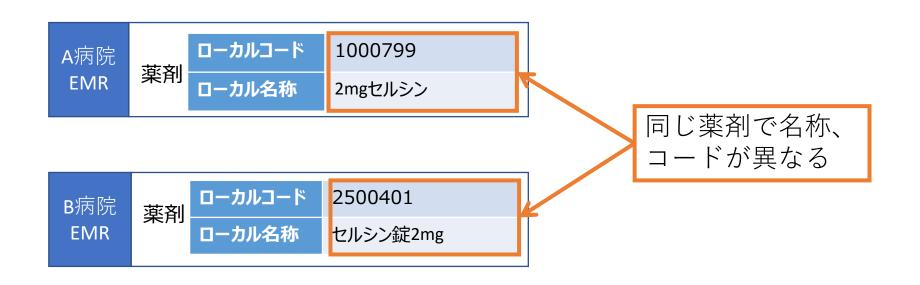
https://pr.fujitsu.com/jp/news/2021/03/18.html

医薬品開発や治験にリアルワールドデータを活用した 新サービス創出に向けた共同研究

5

日本における電子カルテ普及の現状





医療機関毎にローカルのコードを使用しており、利活用が困難

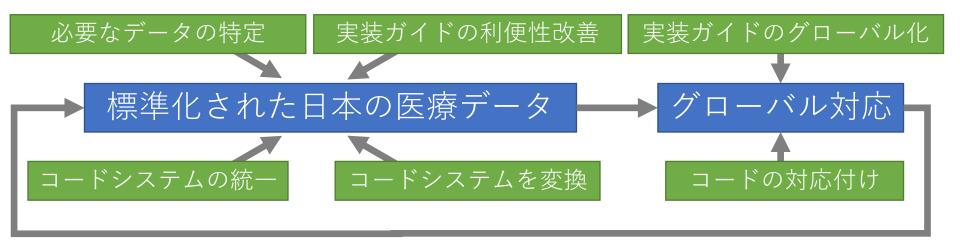
6

- ○NeXEHRSにてJP Coreを作成中
 - ○日本医療情報学会NeXEHRS研究会 (<u>https://jpfhir.jp/</u>)
 - ○DRAFT V1.0.0を公開
 - ○現在、対象リソースを拡大したV1.1.0を作成中
- ○国の研究事業としてユースケース別 実装ガイド作成・公開
 - ○健康診断結果報告書、処方情報、退院 時サマリ、診療情報提供書

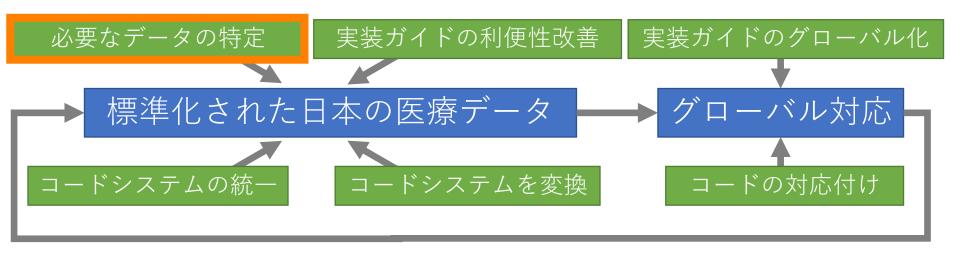
- ○診療録管理体制加算の見直し
 - ○2022年度診療報酬改定で診療録管理 体制加算に係る定例報告にHL7 FHIR 導入状況の報告が追加
- ○標準規格に準拠したFHIR対応 電子カルテ導入費の支援(検討中)
 - ○厚生労働省のWGで検討中
 - ○標準規格の定義は、左記ユースケースへ の対応等

政府が中心となってFHIRの利活用を推進









9

必要なデータの特定



治験におけるデータの潜在ユーザである製薬企業数社にヒアリングを実施

- ○治験と臨床における薬の効果差の定量化
- ○トライアルに進む前のデータの量及び質、可用性の確認

上記ユースケースを満たすために必要なデータ項目を明確化

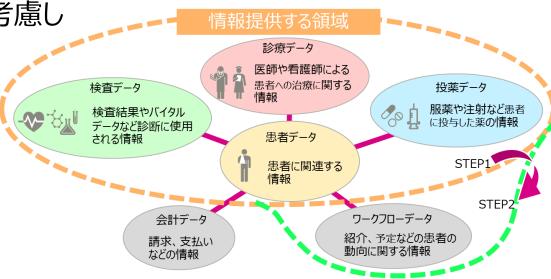
対象データ



○個々の製薬企業に共通の データ項目をユースケース毎に明確化

○電子カルテからの抽出難度を考慮し 対象とするデータ項目を選定

○直近ではワークフローデータに 予約に関するデータを追加



対象とするデータ項目



■ 投薬データ

- 処方(MedicationRequest)
 - ・ 薬名、処方日、用量など
- 服薬(MedicationAdministration)
- 注射(MedicationAdministration)
 - 薬名、投薬日、時間、用量など

■ 検査データ

- 臨床検査値(Observation)
 - 採血採尿(血球、血液、尿など)
- バイタルサイン(Observation)
 - 体温、脈拍、血圧など
- 身体計測(Observation)
 - 身長、体重
- がんゲノム検査(Observation)
 - ・ 体細胞変異、生殖細胞系列バリアント

■ 臨床データ

- 病名(Condition)
 - 既往歴(発症時期、治療内容、転機)
 - 病名、部位、発症日
- 治療内容(Procedure)
 - 手術、放射線治療など



■ 患者データ

- 患者情報(Patient)
 - 性別、年齢
- 入退院・外来(Encounter)
 - 入院·退院日、来院日

■ 医師記載記録(ClinicalImpression)

- · SOAP形式(自由記載)
- 看護記録(CarePlan)
 - 看護プロファイル
 - 看護計画 · 評価
 - 経過記録/実施記録
 - 看護必要度

■ ワークフローデータ

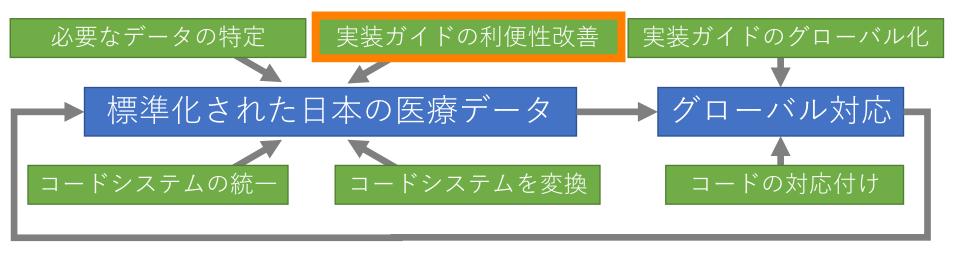
- 予約
 - 予約日、時間、タイトル

STEP1:基本データセット

STEP2:拡張データセット

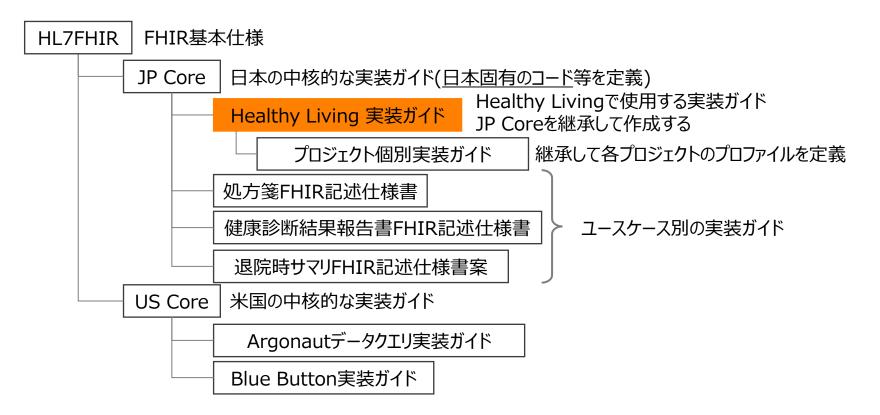
STEP3:テーマ別データセット(計画)





実装ガイドの利便性改善 (実装ガイドの位置づけ)

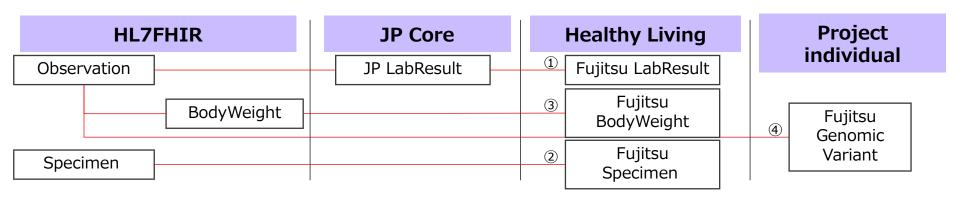




実装ガイドの利便性改善 (プロファイルの作成パターン)



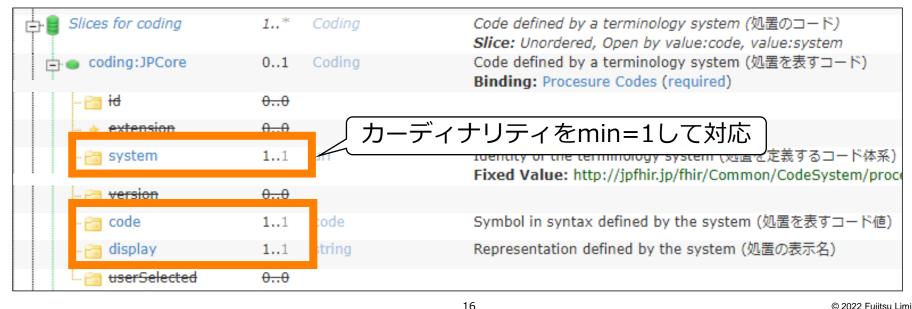
- ① JP Coreを継承したプロファイル
- ② FHIR標準のリソースを継承したプロファイル
- ③ FHIR標準で準拠すべきプロファイルとして定義しているプロファイル
- 4 ユースケース固有のプロファイル(HLには含めない)



実装ガイドの利便性改善(値の必須化)



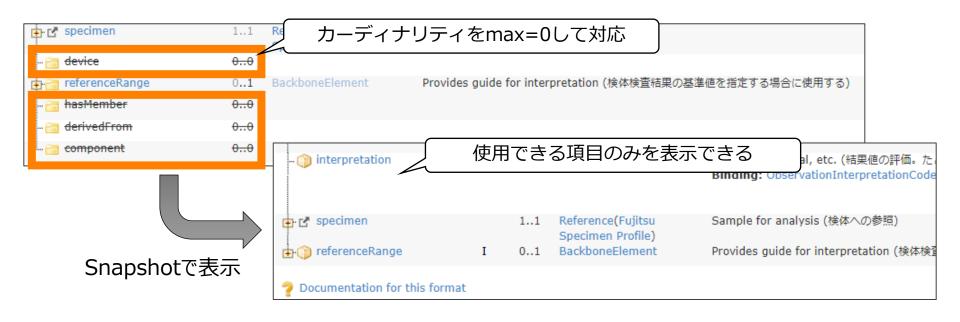
○利活用の利便性を上げるため項目の値を必須 例えば、コードシステムの検索をしやすくするために system, code, displayを必須にする



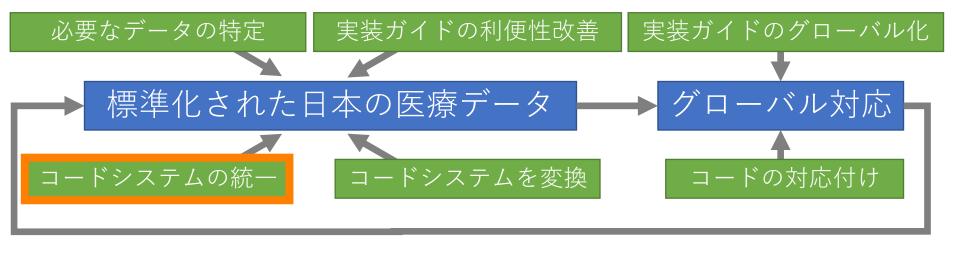
実装ガイドの利便性改善(項目の削除)



○電子カルテに情報が存在せず、データが入らない要素は削除





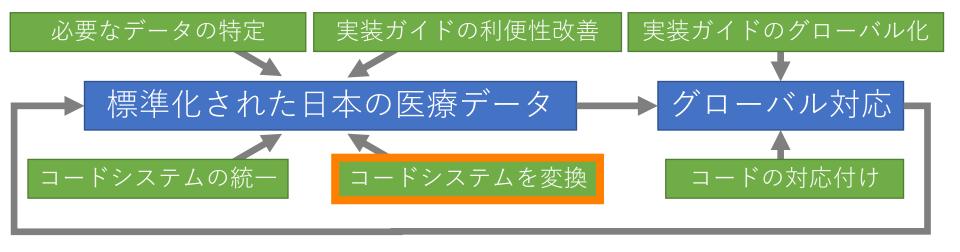


コードシステムの統一 (コードシステム対応表)



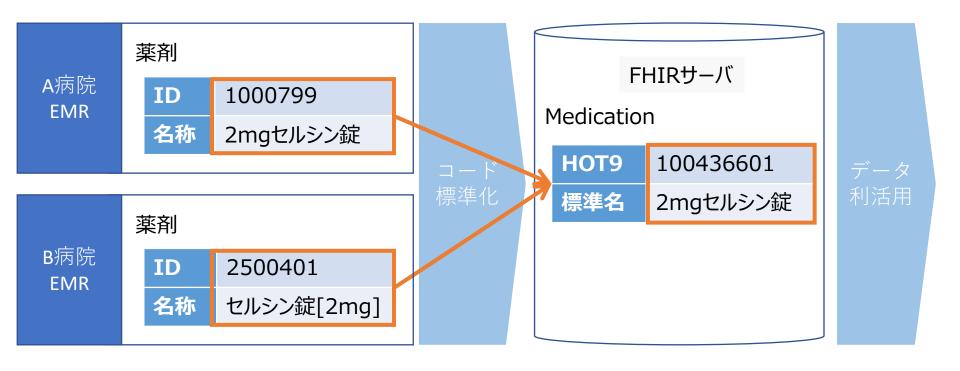
プロファイル	コード	HealtyLiving実装ガイド	JP Core	HL7FHIR/US Core
Observation	検査コード(身体計測)	MEDISの看護実践用語標準マスター <看護観察編>		LOINC
"	検査コード(バイタルサイン)	MEDISの看護実践用語標準マスター <看護観察編>		LOINC
"	検査コード(検体検査)	JLAC10		LOINC
"	単位コード	Unified Code for Units of Measure (UCUM)		
Specimen	検体材料コード	JLAC10材料コード	未定義	HL7 Version 2
Medication	医薬品コード	НОТ9	HOT7,9,13,YJコード, 一般処方名マスタ	SNOMED CT
"	医薬品単位	MERIT-9(5)		主定義
"	医薬品用法	JAM	I標準用法コードコード体系を統一	
Procedure	手術コード	医科診療行為マスタ 手術	医科診療行為 利活用を容易 術基幹コード(STEM7)	易に 1ED CT
"	放射線治療コード	医科診療行為マスタ 放射線治療		SNOMED CT
"	部位コード	MEDIS標準病名マスタ 修飾語テーブル		SNOMED CT
Condition	病名コード	ICD-10	ICD-10,ICD-11	SNOMED CT





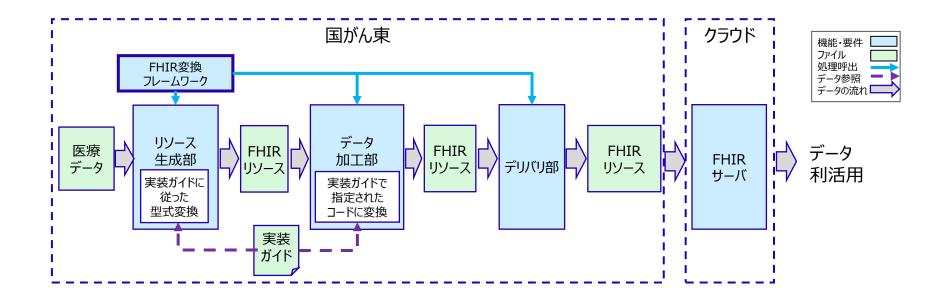
コード標準化 (IDと名称の標準化)



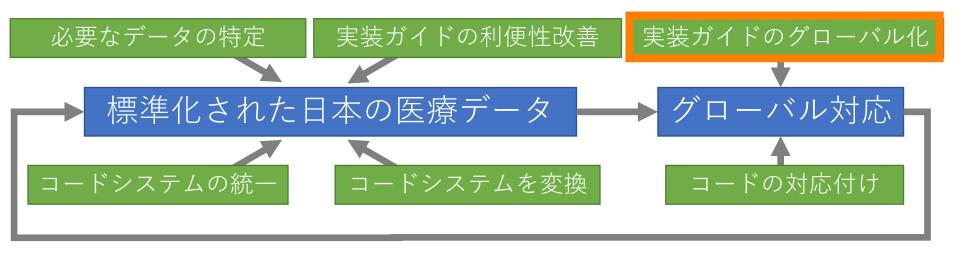


電子カルテからクラウド上のFHIRサーバにデータを格納









23

実装ガイドの国際化対応 (データ構造説明)



- ○英語をベースに実装ガイドを作成
- ○説明を必要とする箇所は、英語と日本語の説明を併記



実装ガイドの国際化対応(概要、ガイダンス等)



- ○概要、ガイダンス等のドキュメントは英語、日本語をページを分けて出力
- ○メニューで言語を切替

メニューの言語切替

Downloads Artifacts	Language ▼	
	English	
e - Local Development buil	Japanese	or

英語ページ

2.1 Introduction

The purpose of this implementation guide is to convert medical information into FHIR data as Fujitsu Healthy Living and utilize it in the data business.

Fujitsu Healthy Living is one of the areas within the business brand "Fujitsu Uvance". Please refer to the link below for details.

- Fujitsu Uvance Site for Japan
- Fujitsu Uvance Site for Global 🗗

- Introduction
- How to read this Guide
- Scope of the Profiles
- Citation Standard
 / References
- Actual Inheritance Relationship

日本語ページ

2.1 イントロダクション

本実装ガイドは、富士通 Healthy Living として医療情報のFHIRデータ化を行い、デ ータビジネスへ利活用することを目的とし ています。

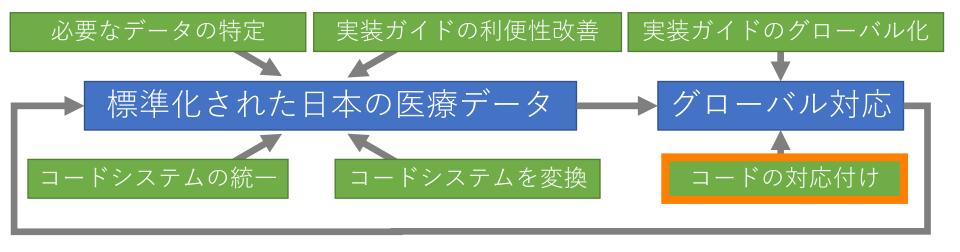
富士通 Healthy Living は、事業ブランド「Fujitsu Uvance」の中の分野の内の1つです。詳細は以下のリンクから参照してください。

- 「Fujitsu Uvance」日本向けサイトは
- 「Fujitsu Uvance」グローバル向けサイトは

- イントロダクション
- このガイドの読み方
- 範囲
- 引用規格・参考
- 本実装ガイドの実装 する上での継承関係 について

25





コードの対応付け



状況	対応内容	対応範囲
日本と米国でコードシステムが異なる	日本、米国の両方のコードシステム が使用できるように定義 [コードシステム対応]	全プロファイル
プロファイル上で日本のコード値が固定で決められている	日本のコードに加えて、米国のコード 値を定義 [コード値対応]	身体計測およびバイタルサイ ンのプロファイル
日本のコードと米国のコードでマッピングができない	コードシステムのコードの名称を日本語に加えて英語も併記 [コード名称対応]	日本のコードと米国のコードの 対応付けが困難なコードシス テム

コードシステム対応例



○LabResult Profile(Observation)の場合



28

コード値対応例



• BodyHeight Profile(Observation)の場合



コード名称対応例 [実施予定]



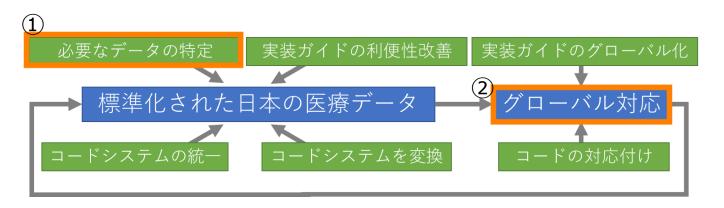
○医薬品名の英語表記を医薬品英名DBを元に作成

HOT⊐−ド	医薬品名	医薬品名(英語)
100424301	セルシン散 1 %	CERCINE POWDER 1%
100425002	ホリゾン散 1 %	Horizon Powder 1%
100429801	ジアゼパム錠 2 「サワイ」 2 m g	DIAZEPAM
100430401	ジアゼパム錠 2「トーワ」 2 m g	DIAZEPAM TABLETS 2"TOWA"
100431101	ジアゼパム錠 2 m g 「タイホウ」	Diazepam tablets 2mg[TAIHO]
100432801	ジアゼパム錠 2 m g 「ツルハラ」	Diazepam Tablets[TSURUHARA]
100436601	2 m g セルシン錠	2mg.CERCINE TABLETS
100438002	ホリゾン錠 2 m g	Horizon Tablets 2mg
100441001	ジアゼパム錠 2 m g 「アメル」	DIAZEPAM

今後の活動



- ① グローバルで必要なデータを明確化 国際標準に沿った情報が提供できるようにプロファイルを拡充
- (2) グローバル対応したデータ活用の検証 臨床治療と臨床研究の間をコードの対応付けを行ったFHIRデータを流通させ、有効性を検証



グローバルで必要なデータを明確化



- International Patient Access (IPA)
 - ○国際的に患者記録にアクセスする方法を提供
 - ○最小限のプロファイルを提供
- International Patient Summary (IPS)
 - ○国境を越えた患者と医師の間で臨床データ共有を促進する規格
 - ○国際的な患者サマリーに必要なデータ要素のプロファイルを提供
 - OGlobal Digital Health Partnership(GDHP)で作成
 - ○GDHPメンバーは日本を含む33か国とWHOなど3つの国際団体

IPAやIPSなど国際的に標準化する規格を取り入れ、 国際的に活用できるプロファイルを整備

グローバル対応したデータ活用の検証



○ Vulcanとは

HL7によって開始されたFHIRを使用して臨床研究をよい効率的にデータを使用できるようにするプロジェクト

臨床治療と臨床研究におけるデータ収集と流通のプロセスを統合を、国際的な協業(研究機関、産業界等)により実現を目指す



臨床研究

○参加組織

患者、政府機関、研究機関、技術ベンダ、 産業界(製薬、保険等)、標準化団体



Vulcanに参加し、ユースケースに沿ったデータ活用を検証

Vulcanの参加組織



Vulcan Membership Spans Many Stakeholder Viewpoints

As of April 12, 2022 ★ UiO

* **A** JOHNS HOPKINS OREGON
HEALTH&SCIENCE **★ Duke** University ★ School of Medicine UAMS 国立がん研究センター 東病院 SCHOOL of MEDICINE Academia UT Health VANDERBILT San Antonio UNIVERSITY University of Colorado Anschutz Medical Campus phuse Society for Clinical Data Management **TransCelerate** Consortia **Government Agencies** U.S. National Library The Office of the National Coordinator for for Advancing * LÆGEMIDDELSTYRELSEN Health Information Technology InterSystems :::medidata accenture accenture **!!!** CitiusTech **Implementers** parexel Microsoft **MITRE** verily ORACLE Medtronic **Med Tech** Johnson Johnson Roche **Pharma** cdisc HL7 **SDOs**











Vulcan HL7 FHIR Accelerator General Overview Deck 19



